

地 域 支 え あ い 活 動 事 例 集

ささえあい

BOOK Part 2



ふれあいネットワーク



社会福祉
法人

山形市社会福祉協議会

山形市の各地区では、それぞれの地域において、住民のみなさまによるささえあい活動が広がりをみせています。

新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態に見舞われ、思うように活動ができない時期もありましたが、住民のみなさまの「つながりを絶やしてはいけない」という熱い想いから、知恵を出し合い、工夫を重ねながら、

社会状況にあわせたスタイルで、必要な活動が、より活発に展開されています。

地域づくりの主役は、あくまでも地域のみなさまです。

地域づくりの答えは、地域の中にあり、私たち生活支援コーディネーターは、その答えを見つけ出すお手伝いをしています。

この「**ささえあい** **BOOK** **Part 2**」は、私たちの活動の中で

地域のみなさまといっしょにみつけたそれぞれの答えを一冊にまとめたものです。

それぞれのささえあいに共通するのは、一人ひとりができるちょっとした活動が地域づくりにつながっているところです。

この冊子に紹介した各地区のささえあい活動を、ぜひご自分の地域づくりの参考にさせていただきたいと思います。

山形市社会福祉協議会

生活支援コーディネーター

目次 支えあい活動事例紹介

担い手養成講座

第六地区 ボランティアスクール……………5

出羽地区 ボランティア養成講座……………5

誰もが集まれる場所

第一地区 『ほっと』できる集いの場……………6

第七地区 ポケットの会……………6

鈴川地区 高齢者いきいき交流会……………7

南沼原地区 ふれあいカフェ……………7

健康づくり 介護予防の体操など

第十地区 学校と地域住民が共にすすめる……………8

高瀬地区 高瀬地区介護予防教室……………8

山寺地区 いきいき百歳体操……………9

蔵王地区 ラジオ体操の会……………9

西山形地区 介護者サロン いっぱぐ会……………10

大曾根地区 おおそね100歳クラブ……………10

見守り声かけ活動

第二地区 災害を地域全体で備える……………11

第八地区 福祉マップを活用した町内のつながりづくり……………11

第九地区 嶋北町内会防災計画……………12

樺沢地区 防災×福祉×健康づくり……………12

樺山地区 地区社協役員・福祉協力員合同会議……………13

滝山地区 みまもりネットワーク……………13

本沢地区 本沢地区の防災研修……………14

生活支援

第三地区 やってみつ会……………14

第四地区 ちよいボラのすすめ……………15

東沢地区 上宝沢あおぞら応援隊……………15

山形市全域 シニア向けスマホ教室……………16

共生・多世代交流

第五地区 子ども食堂 ういずゆう……………16

明治地区 ふれあい福祉まつり……………17

千歳地区 ウォーキングマッププロジェクト☆……………17

高瀬地区 高齢者と小学生のお手紙交流事業……………18

大郷地区 ほっとるつむplus……………18

南山形地区 南山形の福祉をつむぐ会……………18

交通

金井地区 かなみちゃんタクシー……………19

村木沢地区 あじさいバス……………19

飯塚地区 交通課題を住民みんなで考えよう！……………20

山形市全域 スマホで便利に！バス乗り講座……………20

特集

くらしの足を考える……………22

車がないと困っちゃう……………22

参考資料

文中略
コーディネート、SC
生活支援コーディネーター

地区社協
地区社会福祉協議会

民生児童委員
民生委員児童委員

コミセン
コミュニティセンター

我が丸
我が事・丸ごと地域づくり推進事業

百歳体操
いきいき百歳体操

サロン
ふれあいいきいきサロン

子サロ
子育ておしゃべりサロン

新型コロナ
新型コロナウイルス感染症

包括
地域包括支援センター





ここでは、山形市内30地区で取り組まれている
支えあい活動の中から、
生活支援コーディネーターが
おすすすめしたい各地区の
取り組みについてご紹介します！

第六地区

第六地区

ボランティアスクール

ささこあいたい想いをカタチに！



DATA

- 【日時】 年1回開催予定
 【場所】 南部公民館ほか
 【対象】 ボランティアに興味のある方
 【参加費】 無料
 【内容】 ① ボランティアってどんなこと？
 傾聴ってなに？
 ② 第二地区 粋々男塾について
 ③ 情報交換

第六地区では、地区社協を中心に「支え合いネット」事業を進めています。これは、住民アンケートに基づくゴミ出しや除雪、草取りなどの暮らしの中のちょっとした困りごとを、住民同士で助け合い、支え合えるような地域づくりを目指した取り組みです。その一環で「お手伝いできるよ」というボランティアに前向きな方や興味がある方を募集し、ボランティアや傾聴について学んだり、実際に活動されているボランティア団体の話を聞いてみよう、と始まったのが「ボランティアスクール」です。

第六地区では、地区社協を中心とした「集い」も開催しています。参加者の得意分野ややりたいことも多岐にわたり、今後の活動が楽しみです。「大がかりな活動でなくても住んでいる地域でちょっとした手伝いができるような形になると心強いね」と意見交換しました。



出羽地区

出羽地区

ボランティア養成講座

再会♡再開!! ボランティア養成講座同窓会
 心が豊かになる講座



DATA

- 【日時】 令和4年12月
 5日(月)・6日(火)・13日(火)
 【対象】 出羽地区住民
 【内容】 ・ボランティアって何？
 ～コロナ禍でのボランティアの新しいカタチ～
 ・傾聴講座
 ～話の聴き方、心の開き方～
 ・目に見えない障害ってなんだろう
 ～発達障害について～

平成30年度から令和元年にかけて開催された「出羽地区ボランティア養成講座」。ほどなくしてコロナ禍となり活動することができずにいました。「せっかく受講したのに何か活動できないか」という参加者からの声もあり、この度の講座が実現しました。また、地区内の小学校等にも周知をお願いし、広く参加者を募集しました。

ついでをそれぞれ学びました。まずは活動できる日に向けて、定期的に集まりながら、コロナ禍でのボランティア活動の形を考えていくことになりました。「何かやってみたい、私にもできるかも」を大切にしながら、誰かのために、自分のために活動できる日が来ると思います。



第一地区

『ほっと』できる集いの場

にぎやかな声がひびく
昔なじみのみんなの旧一小



DATA

- 【日時】 いきいき百歳体操
毎週(金)9:15 ~
子育ておしゃべりサロン
毎月第3(木)10:00 ~
金曜ふれあい市
毎週(金)10:00 ~
- 【場所】 やまがたクリエイティブシティ
センターQ1 1F 多目的ホール
- 【対象】 どなたでも
- 【参加】 どなたでも

山形市本町の旧山形市立第一小学校が、令和4年9月1日にやまがたクリエイティブシティセンターQ1(キューイチ)としてオープンしました。

Q1は、改装前の「山形まなび館」の頃から第一地区住民の方々の地域福祉活動や、我が丸の拠点として利用されてきました。

改装中は中央公民館に拠点を移して活動していましたが、9月からは再びQ1に戻り、気持ちも新たに多目的ホールで第一地区百歳体操、近隣町内会のサロン、子サロ等の活動が再開されています。

また、9月16日からは、毎週金曜

日の午前中、正面玄関前にて、ふれあい金曜市も再開しました。新鮮な採れたて野菜や果物、手作りのお菓子やパン、お花や鉢植えなどが並びにぎやかな声がひびきます。活動に参加された方や近隣にお住まいの方が、買い物しながらおしゃべりを
楽しむ身近な
場となってい
ます。



第七地区

ポケットの会

思いは受け継がれ20年
愛され続ける憩いの場



DATA

- 【日時】 【役員会】毎月第1(木) 10:00 ~
【サロン】毎月第3(木) 10:00 ~
- 【場所】 城西二区公民館
- 【対象】 町内会住民
- 【参加費】 無料
- 【設立】 平成14年5月

城西二区町内のボランティアを中心に、サロン活動が一般的になる前から自発的に始まった「ポケットの会」。「各自のポケットからそれぞれの得意な事、悩み事、考え、思い、いろいろ出し合って共有する場所にしたい」という考えが会の由来です。その思いは代々受け継がれ、今年発足20年を迎えました。

毎月の役員会で工夫を凝らしたサロン活動を企画中。栄養講座や認知症予防講座、紙芝居や朗読のイベントなど、参加者を楽しませようと一生懸命考えています。また、サロン企画に留まらず「〇〇さ

んに今度のサロン声かけてみよう」「最近の様子どう？」と地域内の様々な情報共有もしています。サロンの案内を配布しながら「元氣だか？」と声がけをするなど普段の取り組みが自然と見守り活動につながっています。

サロン参加

者は楽しい気持ちや嬉しい気持ちで自分のポケットをいっぱいにして帰ります。



鈴川地区

高齢者いきいき交流会

みんなで学んでつながろう

地域の生きがい・健康づくり



鈴川地区社協では、毎年住民の生きがいづくりを目的として「高齢者いきいき交流会」を開催しています。これまでも、講話や住民同士の交流など、その時代のニーズを捉え企画されてきました。

今回の交流会では、コロナ禍での閉じこもり防止のために、包括の健康講話に加え、『歌とピアノによる生演奏で、やすらぎのひと時を』をテーマに、音楽家のコンサートを楽しみました。

地域の高齢者65名が参加し、「健康講話でフレイル予防のことを初めて知った」「普段開催場所が遠くてなかなか参加することができな

DATA

- 【日時】 年 1 回
- 【場所】 鈴川コミュニティセンター
- 【対象】 地域住民等
- 【参加費】 300 円
※毎年、開催内容に応じて変更あり

いから、身近な所で参加できて良かった」「綺麗な歌声にとっても癒された」など、多数の参加者から感動の声が寄せられ大好評でした。

今後も高齢者いきいき交流会は、地域住民同士が集まりつながれる機会として開催予定です。



南沼原地区

ふれあいカフェ

認知症になっても

安心して暮らせる地域へ



ふれあいカフェは、南館ふれあい会館を拠点に4町内合同(南館1・高堂・南館3・南館5)で開催している認知症カフェです。

平成30年に我が丸として立ち上がった以来、各町内が持ち回りで担当し、様々な内容で企画・開催しています。地域にはピアノや手話、ダンスが得意な方等々、素敵な特技をお持ちの方がたくさんいらっしゃいます。こういった地域の皆さんに講師をお願いしたり、圏域内の介護事業所も参加し、福祉に関する専門相談もおこなっています。コロナ禍で開催出来ない時は「担当者で認知症を勉強しよう!」

DATA

- 【日時】 毎月第4(月)
13:30 ~ 14:30
- 【場所】 南館ふれあい会館
- 【対象】 南沼原地区在住の方どなたでも
※コロナ禍の為
現在は4町内在住の方に限定。
- 【参加費】 無料

と一致団結。認知症について理解を深めました。

ふれあいカフェに参加すると、認知症のことを学ぶにとどまらず、参加することで地域との繋がりができたり、お互いに顔の見える関係ができたりと得られることが沢山あります。認知症になっても安心して暮らせる地域を目指す、日々協働で地域づくりをすすめています。



第十地区

学校と地域住民が共にすすめる
福祉のまちづくり

学校が住民の健康づくりの場に！
高校生が地域のための福祉活動！



DATA

- 【日時】 百歳体操は毎週(水) 14:00 ~
- 【場所】 山形市立商業高等学校
- 【対象】 高校周辺の町内会住民
(主にあかねヶ丘1、久保田2・3)
- 【参加費】 無料
- 【その他】 平成28年~令和3年度末まで百歳
体操延べ参加人数3391名。
除雪活動は高校周辺のバス停周りや
住民の使う歩道など。
町内会と生徒会で話し合っている。

毎週水曜日の午後になると、近隣住民が山形市立商業高等学校に集まってきました。
「お世話様です。」「あら〇〇さん元気だった?」「今日は△△さんはお休みするって。」賑やかな挨拶や会話が交わされ、20~30名が徐々について座っていきます。「こんなに」と元気にあいさつしながら通り過ぎる女子生徒や窓越しに手を振る男子生徒。地域の高齢者と高校生の交流も微笑ましい光景です。
開始時刻になると町内会長の挨拶と共に百歳体操が始まり、体操の合間の休憩時は楽しいおしゃべりや地域のお知らせや福祉情報伝

達等があり、有意義な時間です。
生徒会と町内会との懇談会等を行いながら、住民の声をともに旧校舎の頃から食堂を地域に開放。令和4年度からは新校舎に地域交流室も設けられ、広く明るい場所健康づくりができています。
毎年積雪時には住民と共に高校生による除雪ボランティアも大切な活動として受け継がれています。



高瀬地区

高瀬地区介護予防教室

地域で運営する介護予防
みんなと会える体操の場



DATA

- 【日時】 毎週(水)
10:00 ~
- 【場所】 高瀬紅花ふれあいセンター
- 【対象】 高瀬地区にお住まいの方
- 【参加費】 無料

高瀬地区では平成30年から地区内の組織を中心に「高瀬地区高齢者支援連絡会」を立ち上げ、高瀬地区の高齢者のための福祉活動を展開しています。
その取り組みの一つとして毎週水曜日に百歳体操や健康講座等を行う「高瀬地区介護予防教室」を開催しています。
毎回運営も会の構成員である地区社協や民生児童委員協議会、福祉協力員連絡会が月替わりで当番を担うなど、住民が中心となって行っている取り組みです。
1回の開催で15名~20名ほど

の方が参加しており、参加者同士のコミュニケーションも生まれ「みんなと会えるのがうれしい」と体操の場としてだけではなく社会参加や交流の場にもなっています。
活動も4年目となり、地域に根付いた取り組みになってきています。
今後も継続して開催をしていく予定です。



山寺地区

いきいき百歳体操
体操と交流でいつまでもいきいきと！

DATA

【日時】 毎月第4(火)
10:00 ~

【場所】 山寺コミュニティセンター

【対象】 山寺地区にお住まいの方

【参加費】 無料

山寺地区社協では、令和3年8月からコミュニティセンターを会場に毎月第4火曜日10時から百歳体操を実施しています。

運営は地区社協事務局が中心となっており、声かけや周知活動を行っており、地域住民の方が参加しやすい雰囲気を作っています。

また、市の長寿支援課や大森包括等の関係機関と連携しながら参加する方が少しでも介護予防や健康づくりに興味を持って参加できるように、百歳体操後の時間を使って、講座の開催や情報提供を行ったりしています。

開始から1年が経過し、参加し

ている方からは「みんなで集まれる場があって楽しい」と声が聞かれるなど、体操だけではなく参加者同士の貴重な交流の場となり、徐々に地区住民に根付いた活動になっていきます。

今後も開催を継続し、実施頻度の増加等も視野に入れ、検討していく予定です。



蔵王地区

ラジオ体操の会

気軽に楽しく健康づくり！
ラジオ体操で広がる地域の輪



DATA

【日時】 ①毎月第1・3(水) 10:00 ~
②毎月第3・4(木) 10:00 ~

【場所】 ①飯田公園
②みずかみ第二公園

【対象】 飯田町内会住民

【参加費】 無料

蔵王地区では、新型コロナウイルス拡大によりふれあいいきいきサロンの開催が困難となった時期がありました。どうにか住民の交流の場が再開できないかと町内会で検討し、令和3年度から近所にある町内の公園でラジオ体操が始まりました。屋外での活動のため、コロナ禍でも継続的な活動につながっています。毎回役員の方がミニ体操をしてくれたり、参加している地域住民がチャリ作成やラジオカセを持ってきてくれます。体操前後には住民同士の楽しい会話や笑顔が溢れています。集まった住民の方々からは「歩いて来るこ

とができるので嬉しい。」との声や、役員の方からも「タイムリーに情報共有できて良い。」との声が聞かれています。またその評判から翌年には隣の町内会でもラジオ体操が始まりました。最近ではふれあいいきいきサロンも再開し、飯田町内各地で住民による交流の場が開催中です。



西山形地区

介護者サロン いっぱぐ会

いっぱぐしながら
介護の悩みを相談しませんか



DATA

- 【日時】 毎月第3(木)
13:30 ~
- 【場所】 西山形地区の集会所等
(各町内順番に開催)
- 【対象】 西山形地区住民
- 【参加費】 無料

介護者サロン『いっぱぐ会』は、平成22年に始めました。地域の皆様の力により、開催回数100回を超える、10年以上続く活動になっています。参加者は、自宅で介護をしている方や、介護の経験がある方、自身の生活に不安を感じていたり、介護予防に関心のある方などが集まっています。

立ち上げのきっかけは、介護の悩みを相談したり、介護経験を話したり、リフレッシュする場がほしい、という住民の声でした。地区社協や民生児童委員の方々が立ち上げ、そこに山形西部包括や、圏域内のグループホームに司会やサ-

ビスの情報提供といった協力をいただいています。

お茶のみ話を中心に盛り上がり、介護予防や将来の話など、ざくばらんにおしゃべりを楽しんでいます。初めて参加された方も、温かく迎えてくれる雰囲気になんと笑顔が溢れるサロンです。



大曽根地区

おおそね100歳クラブ

いつまでもいきいき元気
めざせ100歳!



DATA

- 【日時】 毎週(火)
9:30 ~ 10:30
- 【場所】 大曽根コミュニティセンター
- 【対象】 大曽根地区住民
- 【参加費】 無料

おおそね100歳クラブでは、いつまでもいきいき元気に暮らせる事をモットーに、いきいき百歳体操を毎週実施しています。

当初は月に2回の集まりでしたが、百歳体操の効果をより実感したいとの思いから、毎週開催する事になりました。定期的に体力測定も行っており、日々の体操のモチベーションにも繋がっています。

コロナ禍でも、百歳体操の後の交流の機会を大切にしており、体操後は、輪になって感染予防をしながら、みんなでお話をしています。『地域の人はみんな仲間』そんな優しい雰囲気が出ており、初めて参加する人も

安心して活動出来ます。

また、当日休んだ方を気にかけたりして、安否確認にも繋がっています。

大曽根地区にお住まいの方なら、年齢問わず誰でも参加可能です。多くの方に参加してもらえるよう工夫し、いつまでもいきいき元気に暮らせる地域を目指しています。



第二地区

災害を地域全体で備える
地域と福祉事業所が一体となつて
できる事から備えて防災につなげる

DATA

【日時】 令和4年11月18日(金)

【場所】 西部公民館

【対象】 地区社協役員、民生児童委員
圏域内福祉事業所

令和4年度、第二地区では『災害に備える』をテーマに、地域住民の方と圏域内の福祉事業所が一緒に防災について考えることを目的に、第二地区地域福祉推進会議とさくら包括ネットワーク連絡会を合同で開催しました。

はじめに、山形市防災対策課から、避難行動支援制度等について講話がありました。次に、地域の防災について情報共有を行いました。

地域からは5名の町内会長に自主防災等についてご報告をいただきました。

事業所と防災協定を締結している町内会長からは、「事業所とは合

同でサロンや芋煮会を行ったりしている。日頃から顔なじみの関係があつたからこそ実現したこと。」また、居宅介護事業所からは「個別計画作成時は声をかけてもらい一緒に考えていきたい。」などのご意見もいただきました。地域と事業所が普段から交流を図ることが防災につながることを実感できた貴重な会議となりました。



第八地区

福祉マップを活用した町内の
つながりづくり
第八地区地域福祉活動計画の実行に向けて

DATA

【日時】 三者懇談会開催時(年1回以上)

【場所】 各町内会・自治会

【対象】 各町内・自治会住民

【参加】 自治会役員・民生児童委員・福祉協力員・その他住民

福祉マップの活用は地区地域福祉活動計画でも困りごと解決の重要な取り組みの一つに位置づけられており、第八地区社協では、令和3年に地域で活用できるようにゼンリンの地図データを購入し、各町内会に貸出しをはじめました。その結果、新たに福祉マップ作成に取り組んだ町内会もありました。

令和4年度は地区社協役員で、地域福祉推進会議の内容について、福祉マップ作成の意義や効果について等、改めて学び、各町内の取り組みの参考にできるようにしたいと検討を重ねました。

会議では、福祉マップ作成に既に取り組んでいる3つの町内会の代表者からお話をいただきました。どの町内も、町内会役員・民生

児童委員・福祉協力員の三者を中心に話し合いながら活動を進めている様子が伺えました。また、3町内の発表を通して、福祉マップを作成することが目的ではなく、住民同士がつながり、日常的な見守りや支えあい等、安心安全のために『活かす』重要性について学び、全町内で共有しました。

地区地域福祉活動計画の実行に向けて、第一歩を踏み出しています。



第九地区

嶋北町内会防災計画

日頃の生活や地域活動を通じて
顔の見える関係と助け合いの絆



DATA

【日時】 年 1 回

【場所】 嶋北集会所

【対象】 嶋北町内会住民

嶋北町内会では、令和2年から防災計画を見直し、令和3年に新しい防災計画が完成しました。計画の完成と共に、防災訓練もリニューアルされました。防災訓練は震度5の地震を想定して行われます。朝8時過ぎ、町内のお宅の玄関先に安否を知らせる黄色い『無事です』カードがぶら下げられます。それを隣組長が確認し、区長、本部の順に伝えられます。要配慮者についてはカードが出ていても福祉部と防災防犯部で訪問し安否確認を行います。災害時の不安な時に声を掛けてもらえたら心強いですよ。

このため、福祉部では日頃から顔の見える関係づくりを目指して、健

康講座を開催したり、要配慮者のマップ作製、見守り、情報共有等を行っていきます。また、今後の訓練では子ども避難所からの避難や、福祉施設車で要配慮者の送迎も計画しています。

嶋北町内会では、防災訓練を重ねて



樫沢地区

防災×福祉×健康づくり

福祉防災マップで災害に備えよう！
避難経路を意識したウォーキング！



DATA

【日時】 毎年、各自治会ごとに実施

【場所】 樫沢コミセン、西原集会所、下樫沢集会所、上樫沢集会所

【対象】 樫沢地区全体

【参加】 樫沢地区住民

樫沢地区では全自治会で福祉マップと防災マップを一緒に作成しています。自治会役員や福祉関係者や自主防災会が自治会ごとに集まり、色々な分野の視点を取り入れて、毎年更新しています。

特に、須川に近い自治会では、増水した際の避難水位や避難方法、避難場所や支援方法などより具体的に話し合っています。他地区の好事例を学ぶ研修会を行いながら、令和4年度は、新たに福祉防災マニュアルを作成。安否確認目印活動を始めた自治会もあり、住民への日頃の見守りへの協力体制や防災意識の啓

発を進めています。健康づくりのためのノルディックウォークでは、西原公園から宮浦小学校や樫沢コミセンから山形第二中学校へのコースを楽しく歩きながら、避難経路を確認しました。災害時に慌てずに避難できたり、お互いに安否確認や助け合いができるような日々の生活の中で意識しながら、福祉活動を進めています。



楯山地区

地区社協役員・福祉協力員合同会議
地区社協役員と福祉協力員が
連携して地域福祉活動を行うために

DATA

【日時】 毎年5月頃

【場所】 楯山コミュニティセンター

【対象】 地区社協役員
福祉協力員

【参加費】 なし

うなど、情報共有を図る重要な場
となつています。

今後も合同会議を通じて、日頃
からの地区内での見守り・声がけ・
訪問活動などの支えあい活動をよ
り充実させ、地域の実状に合わせ
た福祉活動を推進していきます。

楯山地区社協では、地区の役員
同士が顔の見える関係性をつく
り、お互いが連携して地域福祉活
動へと取り組めるようにすること
や必要な知識の習得を目的に、毎
年1回、地区社協役員と福祉協力
員が一同に集合した会議の場とし
て「地区社協役員・福祉協力員合同
会議」を開催しています。

福祉協力員の改選期には各福祉
協力員への委嘱状交付式も同時に
実施し、福祉協力員の基本活動や
重点活動について山形市社協から
説明の場を設けています。

また、非改選期には地域の課題
点、問題点について話し合いを行



滝山地区

みまもりネットワーク

カモンくん・お滝さんとともに

地域の暖かい目で見守ります



DATA

【主体】 滝山地区社会福祉協議会
介護保険サービス事業所連絡会【事務局】 たきやま地域包括支援センター
生活支援コーディネーター

【対象】 主に、高齢者・子ども等

【連絡所】 現在、介護保険事業所や企業
を中心に展開中。地域貢献と
して取り組んでくださる商
店・企業様のご協力をお待ち
しています。

滝山地区では、地域の暖かい目
でこどもや高齢者を見守る仕組
み、「滝山地区こども・高齢者み
まもりネットワーク」を進めてい
ます。

きっかけは、ある介護施設が地
域貢献として行った、小学生の下
校見守り活動です。それを期に、地
区内の介護事業所全体で、県警に
よる既存の取り組みである「こど
も110番連絡所」を担うことと
しました。

さらに、高齢者が地域へ外出し
ている際の体調不良時や安全確保
を行うための一時避難、または困
りごとがあった際に気軽に駆け込
める場所として「高齢者みまもり

連絡所」を立ち上げました。住民の
方にデザインしていただいた、オ
リジナルキャラクターの「お滝さ
ん」を目印に普及・啓発を進めてい
ます。

住民の皆様にも緩やかな見守り
の目を持つていただきながら、地区
全体で一丸となり、より一層誰もが
安心して暮らし続けられる地域と
なるよう、取り組んでいきます。



本沢地区

本沢地区防災研修

あの日の事を忘れず

本沢地区をみんなで守る為に！



DATA

【日時】 不定期開催

【場所】 本沢コミュニティセンター

【対象】 本沢地区住民

【参加費】 無料

時の災害時の様子を地区役員が映像記録として残していたものを皆で視聴し、改めて被害状況の確認を行いました。地域の実情に根差した研修を実施し、参加した皆様を中心に今後の災害に備える活動として推進していきます。

本沢地区は、令和2年の集中豪雨での河川増水により、大きな被害にあいました。そのことを教訓に、今後同じような事が起こった際に住民同士でも助け合いが出来る事を目的に、山形市内でも珍しい、地域内でボランティア団体を結成しました。幸いその後は大きな災害は発生しておりませんが、その時に起こった災害を忘れない為に、令和4年11月に本沢地区社協と自治連合会の共催で第1回目の防災研修を実施しています。



生活支援

第三地区

やってみつ会

できることから『やってみつ会』

そして喜んでもらえるならば



DATA

【日時】 毎月第2(火)
10:00~

【場所】 北部公民館

【対象】 第三地区にお住まいの方
(他の地区の方もお誘いしながら参加可)

【参加費】 無料

【第三地区やってみつ会】は、ボランティア講座の参加者が立ち上げた会です。「まずはやってみつか」という気持ちで、気軽にできることから自分がやってみて楽しい!と思えるものやってみる。そして、喜んでもらえたなら、なお一番!」をコンセプトに、月1回雑巾縫いの活動を進めてきました。出来上がった雑巾は地域の小中学校に寄付しました。これをきっかけに、運動会の玉入れの玉を作ってほしいという依頼をいただきました。「やってみて良かったね。」とみんなで大喜び。「これだと大きいかな。これだと堅いかな。」と試行錯誤しながら、地域の子どものために想いを込めて作りま

した。それに続き、保育園で広告チラシで作るゴミ箱を毎日使うという声を聞き、ゴミ箱作りも始めています。できること・新しいながらも少しずつ増え、やりがいも生まれてきます。活動中は、お話をしながら色々な情報が飛び交う、和やかな地域の情報交換の場ともなっています。



第四地区

ちよいボラのすすめ

つながりづくりと気づきから

長く・気軽に・誰にでもできること



DATA

【日時】 随時

【場所】 除雪等の困りごとへの
ちょっとしたお手伝い(ちよいボラ)

【対象】 第四地区住民

【その他】 ちよいボラの活動に興味がある方、
活動してみたい方は、コーディネーターへお問合せください。

第四地区では、身近なところで気軽に誰でも参加できるボランティアを行うちよいボラが始まっています。錦町神明神社周辺を圏域とする小橋町には、親睦会という青年男性の会があります。この会は、夏季はビアガーデン、冬季は神明神社のサツキの雪囲い等の様々な活動をやっており、この会の活動により、町内男性の皆さんの親睦が深まっています。そして、世代間のつながりもでき、地域内におけるささえあいの意識づくりにもつながっています。親睦会を卒業する先輩達は、ゆくゆくは神社の総代、地区役員となっていく、自然に地域活動の担い手となります。それぞれの年代、場における役割分担がしっかり定着している文

化を感じます。現在は、神明神社の総代が、日曜日の作業を終えた後、雪かきの必要なお宅を確認し、手分けして雪かきをしています。地域の伝統やつながり、ささえあいを大切に想う気持ちがあるからこそ、自然にちよいボラが生まれているのだですね。

第四地区では、ちよいボラが全町内に広まるよう、地区内で取り組まれているちよいボラの紹介活動を行っています。



東沢地区

上宝沢あおぞら応援隊

地域で支え合いの輪が広がっています



DATA

【日時】 要相談

【場所】 バス停などの公共の場所や、
高齢者のご自宅等【対象】 上宝沢にお住まいの方
(主に高齢者や障がいをお持ちの方)【参加】 無料
ボランティア活動は、30分程度で
できる範囲の依頼をお願いしています。

上宝沢では、高齢化率が42%、人口減少や少子高齢化、単身・夫婦のみ世帯の増加から、生活の色々な面で困っている世帯が多いという状況がありました。そうした中、住民から「困っている人の役に立ちたい」という声があり、地域での助け合いについて区長、隣組長、各種団体役員等で話し合いを重ねました。住民の皆さんからは「住み慣れた上宝沢で暮らし続けたい」という思いが聞かれ、令和3年7月「上宝沢地区支え合い講座」を開催することになりました。

講座では、支え合い活動をすでに実施している他地区の方からお話を伺った後、講座の参加者から協力者を募り「上宝沢あおぞら応援隊」が立ち上がりました。第1回目の活動は令和3年10月で、依頼者宅の草刈りや枝払いを実施しました。応援隊のメンバーでお揃いのベストと腕章をつけ、いきいきと活動されています。冬期間は除雪の依頼があり、ほぼ毎日のように活動していたそうです。嬉しいことに、最近若い方も応援隊に加入され、世代を超えた支え合いが広がっています。



山形市全域

シニア向けスマホ教室

スマホ活用で生活に彩り

交流や情報と隔絶させないために



DATA

【日時】 初級編(画面操作や文字入力等)
中級編(地図やカメラ、QRコード等)
上級編(LINEやアカウント等)
等 全9回開催

【場所】 山形市総合福祉センター

【対象】 65歳以上の方(各回10名)

【参加費】 無料

連絡・交流・情報収集・生活必需品の購入…。

コロナ禍で生活様式が一変した今、インターネットの活用は、これからの生活を豊かに彩ってくれるでしょう。

その一方で、スマートフォンを持っていないながら、電話の機能しか使っていないという方、いらっしやいませんか？

これまでは、孤立化の防止や健康づくりの機会を、人と人が集ったリ、戸別訪問することで促進してきました。

しかし昨今感染症への配慮から集う事や訪問ができず、その機会を失う方が出てきています。

この講座は、スマートフォンの使い方を知る事で、情報収集やイン

ターネットを介した交流が容易になり『生活を豊かにする』基盤整備として、またわかりやすい伝え方の研究を兼ね、実施しました。参加された方からは「何がわからないかわからなかったけれど、何を覚えれば便利に使えるかがわかった。」と大好評でした。



共生・多世代交流

第五地区

子ども食堂 ういずゆう

第二食堂がオープンしました！



DATA

【日時】 毎月第2・第4(木)

【場所】 山形市東原町1-5-6

【対象】 小学生および中学生以上
(高齢者の参加も可)

【参加費】 小学生：無料
中学生以上：300円

【内容】 ・午後4時 開場
・午後5時 いただきます

「夜一人で親の帰りを待っている子が多い、何か手伝えなないか？」という代表の想いから令和元年7月に東原教会で立ち上がったのが、子ども食堂ういずゆうです。

令和3年5月には、地域の方のご厚意で第五小学校の近くにういずゆう第二食堂がオープンしました。

おそろいの黄緑色のエプロンをしたスタッフさんが笑顔で迎えてくれます。子どもたちは夕食後、和気あいあいとゲームをしたり、宿題をしたり、思い思いに過ごしています。新型コロナウイルスの影響で休止となった期間は、リピーターさんから再開を待ちわびる声も聞かれました。子どもたちに向けるスタッフの

皆さんの優しい眼差しや声かけが印象的です。山形大学の学生サポーターさんがスタッフとして参加する時は一層会話が弾む様子です。食堂には、近隣のお年寄りも参加されたり、食材を届けてくれる方もいらっしやるとのこと、地域のほっとする場所にもなっています。地域のつながりに、心が温まりますね。



明治地区

ふれあい福祉まつり

みんなが幸せを感じる明治地区



明治地区では、令和4年度初めてふれあい福祉まつりが開催されました。この事業は、地区の活動を地区の皆様にも広く知っていただき、活動に参加することで『みんなが幸せを感じる明治地区』を実現できることを目的としています。さらに、そこから見守りや支え合いの輪が広がり、誰もが暮らしやすい地区となることを目指しています。

当日は、日頃から活動しているサロン担当者などが各ブースを担当し、百歳体操や絵手紙、ラージボール卓球・バックカールなどを体験してもらいました。

DATA

【場所】 明治コミュニティセンター

【対象】 明治地区住民

【参加費】 無料

また、地区にお住いの看護師さんによる健康相談コーナーもあり、ちょっとした悩みを話したり、昔話に花が咲いたり、と地域ならではの盛り上がりが見られました。地域の活動を知ること、人々のつながりが広がることを改めて感じた一日でした。



千歳地区

ウォーキングマッププロジェクト 高齢者と小学生のお手紙交流事業

コロナ禍でも心つながる活動を



DATA

ウォーキングマッププロジェクト

【対象】 千歳地区住民

【方法】 全戸配布

お手紙交流事業

【対象】 単身高齢者
東小学校・千歳小学校児童

【方法】 年2回程度、民生児童委員が
お届け

『すべての住民が孤立せず、心配事が相談できる人のいる まちちとせ』を理念とし、千歳地域共生社会事業を進めています。コロナ禍でも地域の高齢者の体力低下や心の孤独を解消しようと、『ウォーキングマッププロジェクト』と『高齢者と小学生のお手紙交流事業』を実施しました。

地区内を散策できる2つのコースに、見どころやウォーキングのポイント・効果を掲載したマップを作成。住民の皆さんに活用してもらいたいという想いから、全戸配布しました。

またお手紙交流では、地区内に



大郷地区

ほっとるむ plus
コミュニティセンターでスタート

大郷小学校には相談室を利用し、子どもや保護者が自由に立ち寄ることができる「ほっとるむ」があります。これは、学校運営に地域住民がかかわるコミュニティ・スクールの一環としてスタート。地域のボランティアスタッフが子どもたちを迎え入れてくれます。

さらに、夏休みや冬休みでもほっと一息できる場が途切れないように、新たに「コミセンに「plus」もオープンしました。ここでも、保護者の方々や兄弟、子ども同士が、ふらっと気軽に立ち寄ることができ、にぎやかな声が響いています。子どもが絵を描いたりゲームをし



DATA

【日時】月に1回程度（土）午前中
（長期休みの間は平日開催もあり）

【場所】大郷コミュニティセンター

【対象】どなたでも

【参加費】お一人 300円

南山形地区

南山形の福祉をつむぐ会
福祉が地域全体に
行き渡る事を願って

「南山形の福祉をつむぐ会」は、令和2年に我が事・丸ごと地域づくり推進事業へ取り組み際に、地域から出た相談や困りごとを集約し協議するために発足した協議体です。

この会は、南山形地区の、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、振興協議会、福祉協力員連絡会、交通安全協会、防災連絡協議会の各代表で組織され、地域包括支援センターとSCも加わり、月に一回集まっています。

「南山形のすみずみまで福祉が行き届くように」を目標に、毎月、地域の福祉について情報共有や協議を行っています。

令和3年度に、子どもの孤食に関する課題をとらえ、令和4年度の地域福祉推進会議で話し合い、地域食堂の立ち上げの検討につながりました。また除雪に関する課題も市と共有・意見交換しています。高齢者・障がい者・子どもという分野にとらわれず、南山形に住むすべての人々の幸せを考え、活動している素敵な地域です。



DATA

【日時】毎月第1（水）
17:30～

【場所】南山形コミュニティセンター

【対象】南山形地区にお住まいの方

金井地区

かなみちゃんタクシー

地域の皆で話し合って
移動支援の実現を！



DATA

- 【日時】** 毎週(月)～(金)(祝日を除く)
8:00～16:00
- 【場所】** 自宅⇄利用できる施設
- 【対象】** 金井西部5地区の65才以上の
住民(鮎洗、吉野宿、陣場新田、東
志戸田、志戸田)
- 【運賃】** 片道500円

金井地区では、公共交通手段のない地区西部に住む高齢住民からの「免許証返納後の移動手段が必要」という声から、町内会関係者を中心に交通に関する勉強会が行われました。更には地域全体で取り組めるよう、町内会連合会に「金井地区交通網検討委員会」が設置されました。

こうして、勉強会や基盤整備を進め、山形市によりモデル事業に選定されました。生活に必要な買い物、通院などの用途、移動範囲について現状を調査・分析し、公共交通の東金井駅、バス停など交通結節点の利用も考慮した上で、移動範囲と乗降場所が設定されました。

目的の地には、隣接する地区や山辺町の買い物・通院先、金融機関などが選定され、少人数を小さい範囲で輸送できるタクシー活用型で実証実験を行うこととなりました。

この新しい交通システムは、住民により「かなみちゃんタクシー」と名付けられ、令和4年7月に出発式を行います。



金井地区

村木沢地区

あじさいバス

いつまでも、住み慣れた地域で
暮らしていきたいから



DATA

- 【日時】** 毎週(水)
7:50～13:10
- 【場所】** 各停車場～ヨークベニマル南館店前
- 【対象】** 地域に住む住民
- 【参加費】** 1区間200円

村木沢地区で始まった「あじさいバス」は令和4年9月より利用が開始されました。このバスは村木沢地区内を走行し、決められた区間内であれば手を挙げて、その場で乗れるフリー乗降が可能です。主に地域の高齢者がよく通う医院、スーパーを停留所とし、受診と買い物の手助けになるように設定しています。経路については、現在も継続して検討を重ねています。

この事業は地域の皆様が中心となり、長い時間をかけて検討し、市との協議も重ね、実現したものです。

現在は、バスの運行を継続することが困っている住民や将来のわが

身を守る事に繋がると考え、地域一丸となって事業を大切にしております。おかげで、短期間で地域全体に「あじさいバス」が知れ渡り、定期的に利用する方も増えていきます。

長い時間をかけ、地域の思いやりが形になった「あじさいバス」が、今後さらに地域に浸透していくことを願います。



村木沢地区

飯塚地区

交通課題を住民みんなで考えよう！

公共交通を上手に使うって社会参加！
福祉施設が住民送迎で地域貢献！



DATA

- 【日時】 1～2カ月に1回(地区内全戸配布の飯塚コミセンだよりにて周知)
- 【場所】 飯塚コミセン、バス路線
- 【対象】 飯塚地区住民
(交通課題に興味のある方)
- 【参加】 無料(バス乗り講座はバス代)
- 【その他】 毎月20日の交遊サロン20日会は福祉施設(大曽根)の送迎あり

飯塚地区は飯塚街道沿い東西に長く、日頃の生活も行事を開催するにも足の確保が課題のため、「飯塚地区の交通課題を考える会」を発足し課題検討しています。

「運転免許を返納したら買い物や通院はどうしたらいいか」「送迎付きなら色々参加できるのに」「せっかくあるバス路線を活用しよう」「南北の移動に何かいい方法はないか」等交通課題について住民が熱心に話し合います。

その意見をもとにバス乗り講座や公共交通勉強会等を開催しています。毎月20日には「交遊サロン20日会(ハツカカイ)」が開催され楽

しみにされている方がたくさんいます。足がなくて参加できない方には特別養護老人ホーム大曽根から送迎のご協力も頂いて、暑い夏も雪が降っても、運動やゲームや演芸と元気に参加できています。

運転できるうちは安全に、できなくなっても日常生活や社会参加ができるよう、今のうちから住民みんなで考えています。



山形市全域

スマホで便利に！バス乗り講座

バス活用で生活を豊かに！
外出・歩行・計画を立て、介護予防



DATA

- 【内容】 講座編(バスの時刻、乗換えの調べ方)
実践編(バスに乗って、蔵王温泉へ！)
- 【場所】 講座編 山交バス会議室
実践編 蔵王温泉(吉田屋)
- 【対象】 65歳以上のスマホをお持ちの方
- 【参加費】 講座編 無料
実践編 バス代、昼食代実費

山交バス本社の会議室に、スマホに向かう真剣な顔が並びます。

この事業は、自動車依存が顕著な山形市において、運転が大変になつてからも移動手段に困らないよう、元気なうちからもうひとつの移動手段を身につけておくために、講座編・実践編に分けて実施しました。

講座編では山交バスからバス車両の表示の見方や料金などの基本を教えていただき、続いて携帯電話のスマホアプリバイザーが講師となり、スマホを使ってバス時刻や乗換えを調べる方法について、検索の方法やコツを教えていただき参加者はご自分のスマホで、検索に挑戦してみました。

参加者は音声入力 of 便利さや、スマホの賢さに感動し、楽しみながらバスの乗り方を学ぶことができました。

実践編ではバスに乗り込み、蔵王温泉へ！講座を活かし、スマホでバス時刻やおみやげを検索したら、いざ温泉街へ繰り出します。散策を楽しみながら、スマホを活用を実践する良い機会となりました。



ここでは、
生活支援コーディネーターが各地区で活動する中で見えてきた、
山形市全体に共通する課題として、「交通課題」について取り上げます。

本書 19～20 ページ「交通」の項目では、
各地区における具体的な事業概要について触れてきました。



特集

くらしの足を考える

車がないと困っずね～

(令和 4 年 12 月現在)

この特集では、
地域の皆さんが交通課題を捉えた「きっかけ」と、
どのように考え、現在の事業に至ったか、
その「取り組み」をまとめました。

また、地域の皆さんと取り組む中で見えてきたこととして、
交通課題の「現状把握」の方法についてご紹介していきます。

「車がないと困っずね～」とお考えの皆さんが、
話し合いを始める第 1 歩として
ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

居場所から始まる移動支援

出羽地区

事業

総合事業訪問 D 型 (R3)
→長寿支援課モデル事業

形態

タクシー活用による定額・相乗り

対象

ひとあひ処 合 (居場所) 利用者

きっかけ

きっかけは、居場所【ひとあひ処 合】にいらっしやる方のちょっとしたつぶやきでした。「買い物は宅配でできるけど、たまには自分の目で見て買いたいよね〜。」

取り組み

この町内はバス停まで遠く、居場所の利用者の中でもタクシーを利用している方が複数おり、タクシーが身近な移動手段の一つになっていました。タクシーは高いイメージがありますが、何人でも乗っても1台の料金という特徴があります。ただ、タクシーを相乗

りするには、誰が予約の取りまとめや料金のやりとりをするかなどの課題があります。

そこで【ひとあひ処 合】で利用者を取りまとめ、相乗りで買い物に行く仕組みが生まれました。

また、山形市の実施する支えあい活動補助金を活用し、利用者の取りまとめや添乗にも取り組めます。

令和4年度からは長寿支援課の移動支援モデル事業としても取り組まれています。

タクシー活用による近距離・少人数型の公共交通

金井地区

事業

山形市企画調整課
モデル事業

形態

タクシー活用による
ドア to ドア

対象エリア

金井地区西部
(鮎洗・吉野宿・陣場新田・
東志戸田・志戸田)

を
考
え
る

車がないと困っちゃうね〜

飯塚地区

バス路線の活用促進と未来を見通した勉強会の継続

事業

自主事業

形態

定例会 (ミニ勉強会)
バスの乗り方講座
安全運転講習 等

対象

地区民で交通課題に興味のある方
どなたでも

きっかけ

きっかけはひとつのアンケートでした。地区西部のエリアで「今は困っていないなくても5年後10年後の交通事情に不安を抱えている」という課題を捉え、継続した検討の場を持つ事となりました。

さらに、地区内を通る路線の一部が減便となり、交通空白に対する危機感がつのります。

取り組み

そこで、この検討の場は「飯塚の交通課題を考える会」と名付けられ、

①バス路線の維持

②これからの移動支援の在り方を目的に話し合っていくこととなりました。

会のメンバーは地域の交通課題をなんとかしたい！という方が自主的に集まり、地区の福祉関係者は新旧を問わず、元タクシー運転手さんから山交バスさんまで幅広いのが特徴です。

①では、地区住民のバスユーザーを増やせるよう、「バスの乗り方講座」を定期開催。利用促進による維持を目指します。

②では、様々な事業や事例を学びながら、これからについて楽しく話し合っています。
(P 20 参照)

定時定路線・中規模人数 午前集中巡回型の公共交通

村木沢地区

事業

山形市企画調整課
モデル事業

形態

小型車両による巡回バス
(自由乗降区間あり)

対象エリア

村木沢地区中心部
(悪戸・若木)

地域の皆さんと取り組む中で 見えてきたこと

右の4つの事例は、いずれも交通課題を感じながらも、それぞれ違う方法で解決を目指しています。

出羽地区では一人のニーズから小さく解決を目指しました。飯塚地区では今あるものに目を向け取り組んでいます。

金井地区・村木沢地区のモデル事業では住民ニーズを正確に捉える所から動き始めました。いずれの例も現状を正しく把握することが、次のステップへ進む足掛かりとなるようです。

そこで、どのように現状把握を進めたか、モデル事業を参考に整理しました。

まずは回答者の基本情報。ここ

地域の困り感、ニーズを把握する質問項目

新しい移動サービスへの導入に関するアンケート調査結果

回答者の基本情報

- 年齢層
- 世帯構成
- 運転免許の有無
- 身体状況

移動に困っているか

- 移動そのものの困り感
- 移動できない事で生じる、関連した困りごとへの対応

図① モデル事業で使われた質問表の例

が分析の基本となります。

次に移動に対する困り感の把握です。今現在困っているか、また自由度はどうか。また、移

もうひとつ特筆すべきは行動調査です(図2)。

この把握により、地域住民の移動傾向が把握でき、近距離・少人数や定時定路線などといった、地域にあった移動システムがどんな形であるかが見えてきます。

こうして見えてきた現状から、話し合いの基盤ができていきました。

交通課題は、買い物や通院といった生活、社会参加にも直結

地域の困り感、ニーズを把握する質問項目

お住まいからどこに移動しているか。

- 具体的な行先名
- 頻度
- 移動手段

図② 行動調査の質問表

する問題です。簡単に解決策が見つからないテーマではありませんが、本稿が話し合うきっかけとなれば幸いです。

きつかけ

平成30年度に地区高齢者の任意の会による自主アンケート実施、令和元年にはその声をもとに町内会連合会として山形市への要望書を提出。令和元年度に当会主催の「交通をデザインしよう」に地区役員が参加され、町内でのふれあいいきいきサロンで勉強会を開催するに至りました。

取り組み

モデル事業では、地域住民の困り感をなるべく正確に把握するため、行動調査が実施されました。

アンケート(左参照)では買い物と通院に困っている現状が浮かび上がり、また特徴として、行先はバラバラであるけれど、居住エリアと目的のエリアが比較的近距离に設定できる事が見えてきました。

この結果を踏まえ検討を重ねた結果、人口規模も比較的小さかったことから、タクシー活用による地域公共交通を検討するに至りました。

(P19参照)

きつかけ

村木沢地区は、地区中心部をバスや電車が通っており、以前から地域の会議で交通課題が話題に上がるなど長らく課題となっていました。

当会で企画した交通課題に関する勉強会には地区社会福祉協議会をはじめ、福祉関係役員総出で出席され、地域をあげて課題解決に向けて模索してきました。

取り組み

こうした背景もあり、令和3年からの企画調整課モデル事業に選定され、検討会が立ち上がりました。

調査では地区内全世帯に2枚ずつアンケートを配り全世代調査を実施。

高齢世代の買い物・通院の課題が見えてきました。

また、行動調査からは買い物の行先は南北に二分されている事がわかりました。

そこで、検討会の皆さんがふれあいいきいきサロンで聞き取り調査を行ったところ、「公共交通でいけるようになるなら行先は変えても良い」という声が聞こえてきました。

通院先も地区内の医院に共通していた事もあり、村木沢地区では目的の地をまとめ、定時・定路線型・週一回・午前中に6便の地域公共交通を検討していくこととなりました。

(P19参照)



参考資料

(令和4年12月現在)

ここでは、生活支援コーディネーターの活動と、
山形市地域支え合いボランティア活動（総合事業B型D型）、
地域の中の居場所、福祉施設による移動支援を、
ピックアップしご紹介します！

生活支援コーディネーター



生活支援 コーディネーターとは

生活支援コーディネーターは、高齢化や核家族化が進む中、地域でのつながりづくりや支えあい活動を発展させていく役割として、介護保険法に位置付けられた役職です。

山形市では、山形市社協が市より委託を受けて、市全体を担当する第一層として1名、各包括圏域を担当する第二層として14名が配置されています。

主な役割は、各包括とともに住民同士のつながりづくりの場、買い物やゴミ捨て等の生活支援、体操等の介護予防活動の仕組みづくりの支援を行っています。

今後も、地域の中様々な社会資源とのネットワークを活かしながら、住民に寄り添い、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指していきます。

生活お役立ちガイドブック

お役立ちガイドブックは高齢者の生活に役立つ情報を一冊にまとめたものです。

内容は、山形市内にある買い物やゴミ捨て、除雪等の日常的な家事支援サービスから、生きがいづくりにつながるようなサロン等の交流の場、健康づくりの場等の情報を多く掲載しております。

この「生活お役立ちガイドブック」が手元にあることで、住み慣れたまちでいつまでも自分らしい生活を送ることができるよう、毎年情報を更新しています。山形市のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。



生活支援コーディネーター通信

この通信は、コロナ禍で福祉協力員研修会の開催が困難になったことをきっかけに、情報共有のツールとなる「福祉協力員通信」として令和2年度に創刊しました。

その後、研修会も再開しましたが、地域のような活動の情報をより多くの方へ発信することを目指して、名称を「生活支援コーディネーター通信」と変え、福祉関係者の皆様へ向けて発行しています。

生活支援コーディネーターの取り組みや、地域でのささえあい、つながりづくりの活動等、地域福祉活動に参考にしたいだけのような情報を掲載していますので、ご覧になりたい方は生活支援コーディネーターへお声掛けください。



ふくしのまちづくりガイドブック

このガイドブックは、地域福祉の活動に興味がある方や、はじめて地区社協や町内会の役員になった方が、少しでも不安なく活動してもらえよう、地域福祉活動の概要や進め方についてまとめた冊子です。

「ふれあいいきいきサロンってなに?」「三者懇談会って何をすればいいの?」という疑問を持つ方が気軽に読めるような、入門編として作成しました。

このガイドブックを三者懇談会や地域の会議で読み合わせ、それぞれの活動を確実にするツールとしての使用もおすすめです。ぜひご活用ください。



活動取り組み状況 (令和4年12月現在)

山形市地域支え合いボランティア活動 (総合事業B型D型)

市内には介護保険法の補助金を活用した支えあい活動もあります。詳細については山形市役所ホームページをご参照ください。

居場所づくり (通所型サービスB)

1	特定非営利活動法人 山形わたげの会	常設型居場所(わたげの家 月～金)
2	特定非営利活動法人 ふれあいにこにこの丘	毎日型居場所(あがらっしゃい 月～金)
3	特定非営利活動法人 すみれ会	居場所(いきいきくらぶ花 水～土、地域の居場所すみれ 土)
4	双葉町町内会	いきいき百歳体操じゃんしゃん体操(火) グラウンドゴルフ、ウォーキング
5	清江町町内会	清江町輪投げ集いの場 認知症予防等の体操、体芯体操、 輪投げ(月)
6	絆会	ひとあひ処「合」 介護予防教室、社会交流、教養講座 (月・水・金)
7	清住町百歳体操の会	百歳体操・かみかみ百歳体操(火)、 音楽療法や輪投げ等(年に数回)
8	いきいき若草サロン	百歳体操、ウォーキング、麻雀、家庭菜園(日)
9	どんぐりの木	百歳体操、折り紙その他創作活動等(月・水)
10	あいあい広場	体操、サロン等(木)

生活支援 (訪問型サービスB)

1	特定非営利活動法人 山形わたげの会	生活全般の支援(家事、ごみ出し、雪かき、話し相手等 月～日)
2	特定非営利活動法人 ふれあいにこにこの丘	生活全般の支援・移動支援(月～金)、配食(月・水・金)等
3	特定非営利活動法人 すみれ会	生活支援(月～金)
4	生活協同組合共立社 (コープくらしのたすけあいの会)	家事援助、話し相手等(月～金)
5	特定非営利活動法人 グローバル福祉サービス	調理、掃除、買い物代行、雪かき等(月～金)
6	かえるの会	ごみ出し、除雪、障子貼り、庭の手入れ、買い物支援
7	上宝沢あおぞら応援隊	ごみ出し、草刈、除雪等

移動の支援 (訪問型サービスD)

1	特定非営利活動法人 ふれあいにこにこの丘	買い物や通院の付き添い支援
2	特定非営利活動法人 グローバル福祉サービス	通院・買い物時の付添支援(月～土)





地域の中の居場所

山形市内の支えあい

ふれあいいきいきサロン

身近な場所で地域住民が主体となって作る気軽に楽しくおしゃべりできる場です。

30地区 284カ所

【参照】 ポケットの会 … 6 ページ
介護者サロンいっぶぐ会 … 10 ページ

認知症カフェ

認知症の方やその家族、地域住民、介護福祉専門職等が気軽に集い、悩みや情報を共有し合う場です。

16カ所

【参照】 ふれあいカフェ … 7 ページ

障がい者ふれあいサロン

障害のある方やその家族、支援者が気軽に集い情報交換や楽しくおしゃべり出来る場です。

市内 2 カ所 (社協把握分)

学校や企業との除雪活動

企業や団体、学校も同じ地域の一員として、地域総ぐるみのちょっとした支援活動です。

学校 17 校
企業・団体 3 団体

通いの場

週に一回以上集まりや介護予防の運動(いきいき百歳体操等)を地域住民が主体的に行う場です。楽しくおしゃべりできる場です。

103カ所

【参照】 『ほっと』できる集いの場 … 6 ページ
学校と地域住民が共にすすめる
福祉のまちづくり … 8 ページ
おおそね100歳クラブ … 10 ページ

子育てサロン

子育てを楽しみながら、仲間をつくり、お互いに支えあう活動です。親子で気軽に参加し、自由に遊んだりおしゃべりや子育ての情報交換を行う場です。

25地区 32カ所

子ども・地域食堂

子どもを中心とした多世代交流の地域の拠点です。

市内 16 カ所

【参照】 子ども食堂 ういずゆう … 16 ページ



福祉施設による移動支援

買い物等の移動に負担を感じる高齢者世帯へ福祉施設等と地域が協働し、送迎のお手伝いをする取り組みです。※コロナの影響で休止中のところは除いております。

- ① **上野町内会買い物ツアー** (蔵王やすらぎの里／蔵王地区)
- ② **本沢地区買い物支援** (特別養護老人ホーム菅沢荘、サニーヒル菅沢／本沢地区)
- ③ **せん寿の杜買い物支援** (せん寿の杜／出羽地区)
- ④ **みはらしの丘町内会買い物支援** (特別養護老人ホームみはらしの丘／南山形地区)
- ⑤ **高瀬地区買い物支援事業** (特別養護老人ホームべにはなノ杜、山形県リハビリセンター／高瀬地区)
- ⑥ **かえるの会お買い物隊** (特別養護老人ホームみこころの園／南沼原地区)
- ⑦ **陽だまり外出支援** (山形地域福祉事業所陽だまり／第六地区)
- ⑧ **おおそねケアセンター・交遊サロン20日会送迎支援** (特別養護老人ホーム大曽根／飯塚地区)



地域支援あい活動事例集

ささえあいのBOOK Part 2

令和5年3月発行

発行者 社会福祉法人 山形市社会福祉協議会

〒990-0832 山形市城西町2-2-22（山形市総合福祉センター）

TEL：023-645-8061

FAX：023-645-9236

URL <https://www.yamagatashishakyo.or.jp/>



山形市社会福祉協議会 公式 LINE

赤い羽根共同募金



この冊子は赤い羽根共同募金の配分を受けて作成しています。

印刷所 コロニー印刷（山形福祉工場）